

第4学年1組 ふれあい学習（総合的な学習の時間）学習指導案

令和5年7月5日（月） 第5校時
場 所 4年1組教室
児童数 27名
指導者

1 単元名 エコな生活／私がつくる未来

2 単元目標

- ・身近な環境問題を理解することができる。 【知識及び技能】
- ・自らの課題解決に向け、情報収集、調べ方、まとめ方、報告や発表の仕方を身につけ、活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・身近な環境問題に関心を持ち、自ら意欲をもって問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組み、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

3 児童の実態

本学級の児童は、興味・関心のあることには意欲的に取り組む。しかし、興味や意欲には個人差がある上に、教科等の学習で学んだことと自分たちの生活とをつなげて考えることは苦手な児童が多く、社会科でごみについて学習したときも、自分たちの身近なこととしてとらえようとする意欲は低かった。

そこで、自分たちの住んでいる町をよりきれいにしたいという思いを生かして課題を設定し、活動をしていくことにした。この学習でSDGsの1つの削減目標でもある世界規模で起きている廃棄物（ごみ）の問題について知り、一人一人の考え方や日常の行動と深く関わっていることに気づき、学んだことを自らの生活や行動に生かしてほしい。そして、児童同士で解決する方法を探しあい、地域へのよりよい提案を作りあげるために協働的な活動を取り入れることで、学び合いながら自己の考えを広げ、地域のためにできることを考え、社会に参画していこうとする児童を育てたい。

4 教材について

本単元は、環境にかかわる問題を自分の身近な問題としてとらえ、自分たちができることを考え、発信していくことをねらいとしている。

初めに、児童は社会科の「くらしとごみ」の学習でゴミ問題について学習し、自分たちを取り巻く環境について学んできた。そこからさらに、地域の様子を実際に自分の目で確かめたり、家庭から出るごみについて調べる活動を通して「このままゴミが増え続けると、みんながすごしにくい町になってしまう。」という課題に気づくようにする。

次に、「ゴミのないきれいなまちに」という目的を常に意識させ、調べる項目を具体的に絞って調べ学習を進めさせる。また、分かったことを自分の言葉でまとめる活動を行わせ、自分の考えを持つことができるようにする。

解決したい課題が同じ児童同士でグループを作り、それぞれが調べて分かったことをグループ内で話し合い共有することにより、ゴミを減らすために自分たちができることを具体的に考えさせ、まとめにつなげる。その過程では、課題解決に向けてインターネットや本等を活用して情報収集を行ったり、仲間と一緒に試行錯誤したりしながら問題を解決できるようにしていく。

また、活動の途中で中間発表会を行い、互いの考えのよさや改善点を伝え合ったり、自分たちのグループに生かせる点はないかという視点で、他のグループの発表を見たりすることでよりよい解決方法が見出せるようにする。

最後にグループ発表会を行う。その際に、発信する相手に合わせたまとめ方や伝え方を考えさせる。また、自分たちのメッセージがどれくらい伝わったかを確認させることにより、みんなで協力してごみを減らしていこうとする気持ちを高める。

本単元のまとめとして、ゴミ問題への理解を深めることを通して、ゴミを減らし、みんなが生活しやすい環境、社会を築くために何が必要かを考え、自分ができることについて考えさせたい。

5 学校研究主題との関連

(1) 研究主題

新しい社会を生き抜く児童の育成

～プログラミング的思考を軸とした授業展開で社会で生きる情報活用能力を育てる～

(2) 目指す児童像

- ア 探究的な学習の過程において、情報に関わる知識・技能や経験をもとに、課題に対する解決方法を見出すことができる児童。
- イ 物事を多面的に捉え、問いを見出し、課題を立て、根拠や理由をもって課題解決し、的確に発信できる児童。
- ウ 探究的な学習に主体的・協働的に取り組む中で、よりよい生活を求めて、試行錯誤を繰り返したり、粘り強くやり抜いたりすることができる児童。

(3) 研究の仮説

- ア 情報機器を扱うための基本的な技能を習得させるとともに、ゴールや課題解決のために必要な材料を明確にさせた授業を展開することで、見通しをもって課題解決に向かうことができるであろう。
- イ 自分の考えを支える情報を整理し、根拠や理由を明確にして、他者の考えと比べながらよりよい方法を見付けさせることで、論理的に課題解決をすることができるであろう。
- ウ 自分や友達のよさを認め合ったり、地域の方や学校外の方とのかかわりの中で生じた新たな課題を友達と一緒に解決させたりすることで、よりよい生活をつくり上げようという態度が育つであろう。

(4) 手立て

- ア 毎時間授業の終わりに、これまでの成果や課題を振り返り、次時のめあてをたてることで、見通しをもった課題解決活動を展開していく。
- イ グループ同士で交流する場を設定し、お互いに感想や助言をもらうことで課題解決に対する意欲や最適解を見出すことができるようにする。
- ウ 小グループで活動することで、一人一人が考えをもって活動に参加できるようにする。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 3Rについて調べ、理解している。 ② 自分で調べたり、まとめたりしたことについて相手にわかりやすく発表している。 ③ 探究的な活動の良さを児童が理解している。	① 環境問題について自ら課題を見つけ、課題解決の方法やまとめ方を考えながら活動している。 ② 実験や観察、インタビュー、本、インターネット等で調べ、必要な情報を分かりやすく表や文にまとめている。 ③ 友達と協力をして調べたり、話し合ったりすることでよりよい意見や新たな課題を見つけている。 ④ 集めた情報を整理・分析し、課題解決の方法を考え、表現している。	① 自分の興味あるもの、もっと深く調べてみたいことなどを出し合い、進んで話し合っている。 ② 課題解決に向けて意欲をもって取り組もうとしている。 ③ 自分の考えをもったり、他の人の考えのよさに気づいたりしながら今後の生き方について考えている。

7 単元の指導計画・評価計画（全24時間）

過程	○学習活動・児童の思考	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点 ○評価（評価方法）
情報の収集 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○「ゴミ」について知っていることを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨て ・残菜 ・ゴミの分別 ・ごみの埋立地 ・リサイクル ○「3R」とは何かを考える。 ○ゴミ問題の中で、自分が興味を持った事柄について具体的に調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の「暮らしとごみ」で学習したことを想起させる。 ・児童から意見を集め、いくつかのカテゴリーで分類する。 ・3Rについてインターネットを用いて調べまとめる。 ○知・技①（ワークシート） ・分類したカテゴリーの中から自分の興味のあるものを選び、インターネット等で具体的な現状を調べるよう指導、助言する。 ○思・判・表②（ワークシート）
課題の設定 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○課題を知る。 ゴミのないきれいなまちにしよう ○自分たちにできることは何かを考える。 ○自分が解決したい課題を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の一員としてきれいな町づくりをするという目的を設定し、児童の目的意識を高める。 ・自分たちで調べた情報をもとにして、解決したいことを選ぶよう指導、助言する。 ○思・判・表①（ワークシート）
情報の収集 (2)	○情報収集の方法を考え、計画にしたがって調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ課題について、より深く調べ、問題解決に向けて見通しをもてるようにする。 ○思・判・表②（行動・ワークシート）

<p style="text-align: center;">整理 ・ 分析 (16)</p>	<p>○同じテーマの友達同士でグループを組み、グループの課題を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発ポスター ・残菜0活動 ・ゴミの分別活動 ・リサイクルの取り組み <p>○グループの課題を追求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料 ・インターネット ・地域へ出かけての調査、インタビュー <p>○中間プレゼンを行い、改善点を見つけ、今後の活動計画を立てる。</p> <p>○グーグルスライドやスクールタクトなどで発表資料を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで課題について話し合うことで、共通の目的意識をもてるようにする。 <p>○態① (発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、地域への調査・インタビューを行うことができるようにする。 <p>○思・判・表② (発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動後にグループの振り返り活動を行い、試行錯誤の過程を記録しておく。 <p>○態② (発言・行動・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの活動をよりよくするという視点で発表を聞き合い、アドバイスをしよう指導、助言する。 <p>○知・技① (発言・行動・ワークシート)</p> <p>○思・判・表③ (発言・行動・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間発表で立てた活動計画をもとに活動を進める。 <p>○態② (発言・行動・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの思いや機器のよさを伝えるための手段の一つであることを児童に説明する。 ・相手の立場に立って作成するよう指導・支援をする。 <p>○思・判・表④ (行動・作品)</p>
---	---	---

<p>ま と め 表 現 (2)</p> <p>本時</p>	<p>○発表会で、自分たちが調べた内容や活動のプレゼンテーションを行う。</p> <p>○振り返りとまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の不調等、万が一の場合にも備えておくよう事前に指導する。 ・話すときの視点だけでなく、聞くときの視点についても指導しておく。 <p>○思・判・表④ (発言・行動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返り、ゴミ問題について考えてきたことで、新たに生まれた自身の考えや、社会の一員としての今後の行動について考えるよう指導する。 <p>○知・技③ (発言・ワークシート)</p> <p>○態③ (発言・ワークシート)</p>
---	---	---

8 本時の学習指導（23／24時）

(1) 目標

集めた情報を整理・分析し、課題解決の方法を考え、表現している。【思考力・判断力・表現力】

(2) 展開

学習活動	・指導上の留意点 ○評価（評価方法） ☆学校研究主題	準備	時間
1 本時のめあてを確認する。	・本時のめあてを確認し、見通しをもって活動を行えるように学習内容を理解させる。	大型モニター 教師用タブレット	5
調べたことを発表し合い、自分の考えを広げよう			
2 グループごとに発表を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで作成した映像資料を使って、調べた事や活動を分かりやすく発表するように助言する。 ☆相手意識を高め、伝えるべき情報を整理して、根拠や意図を明確にできるようにする。 発表する人は、相手によく伝わるように事前に目線や声の大きさ、話す速さについて指導する。 聞く人は、発表者に体を向け、静かに聞くなどのマナーを守らせることで堂々と発表できる雰囲気をつくる。 ワークシートにメモをしながら聞くことで、自分が調べた問題との違いにも気付かせる。 発表が終わったら、聞くグループは質問や感想を伝える。 グループの発表が終わるごとに発表の要点を整理したものを黒板に掲示する。 	ワークシート	30
3 自分の考えや感想をまとめる。	・グループ毎の発表を聞いて考えたことや、今後の生活に生かしていきたいことなどを中心に書くようにする。		7
<p>○集めた情報を整理・分析し、課題解決の方法を考え、表現している。 【思考力、判断力、表現力等】（発言・行動観察・振り返りカード）</p> <p>A の児童 ・他のグループの発表をもとに、自分にできることを複数考えることができる。</p> <p>B の児童 ・他のグループの発表をもとに、自分にできることを考えることができる。</p> <p>C の児童 ・他のグループの発表をもとに、自分にできることについて考えが浮かんでいない。</p> <p>C→B への手立て ・自分たちのグループの解決方法と比べ、違うものがないか考えさせる。 ・メモをもとに自分にできそうな解決方法はないか声掛けする。</p>			
4 感想を発表する。	・数名の児童に発表させ、発表を聞いて感じたことを共有し、考えを広げさせる。		3

9 板書計画

エコな生活～ゴミのないきれいなまちにしよう～		話す人…目線・声の大きさ・話す速さ	
今日のめあて		聞く人…相手を見て・静かに・うなずきながら	
調べたことを発表し合い、自分の考えを広げよう			
学習の流れ 1 めあてのかくにん 2 グループの発表会 3 自分の考え・感想 4 感想発表	Aグループ	Bグループ	Cグループ
	Dグループ	Eグループ	Fグループ

10 ICT活用計画

- Chromebook
- タブレットPC
- 大型モニタ